



# 森とも通信

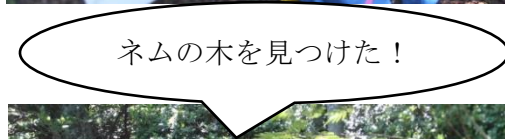
日土小学校  
H30. 6. 18  
NO5

## 「森と友だちになろう 4年生」～諏訪崎自然保養林探索

森とも講師 寺崎正人さんに案内していただき、諏訪崎自然保養林を探索しました。行きのバスの中では、了月院のモミ、喜木八幡神社の大ケヤキ、車窓越しに見つけたネムの木、クロガネモチなどについて紹介していただきました。

諏訪崎に着くと、授業のスタートです。事前に子どもたちが調べた木を見つけながら、遊歩道を歩きました。イヌマキ、ハマセンダン、アカマツ、ヒノキ、ハゼ、ヤマザクラ、ツバキなど。寺崎さんが素早く見つけて教えてくださいました。また、歩きながら広葉樹林の働きや役目についても教えていただき、充実した体験学習でした。子どもたちが分かりやすいように、と様々な工夫をして授業していただき、ありがとうございました。

森に差し込む光、梢を揺らす風の音、鳥の鳴き声、潮の香り。全身で森を感じることができました。



「魚つき保安林」は、海と深いつながりのある森や林です。森は、大雨が降ったときに、雨水を少しづつ流し、山崩れや川の氾濫を抑え、濁った水が海へ流れるのを防いでいます。また、森の土に含まれている栄養分が川から海に流れて、海の生き物が豊かに育ちます。

崖、虫、かぶれる葉、動物、水分補給に注意して歩きましょう。



ネムの木を見つけた！

青い海と空、絶景でした！

ぼくが調べたハマセンダンは予想以上に大きかったです。森の働きを知ることができました。

風が気持ちよかったです。その風の気持ちよさも森のおかげだということを知りました。

樹木以外にも虫や花などいろいろと見つけることができたし、お気に入りの木も見つかり、良かったです。